

**筑波大学/生物材料グリーンプロセッシング研究グループ 第1回シンポジウム**  
**「パルプ・紙・印刷・バイオマテリアルの明日を開く」**

**趣旨** 大学におけるバイオマス材料研究領域の拠点が失われつつある中で、筑波大学では2013年4月に生物材料グリーンプロセッシング研究グループを立ち上げ、特に紙、パルプ、印刷関連分野の重点的な研究を産官学の連携により円滑に進めていくための拠点作りを開始しました。連携は国内だけではなく、中国、韓国、インドネシアやタイなどのASEAN諸国との連携及び産業界の皆様との意見交換が活発になるような組織を目指します。今回のシンポジウムでは、本グループで現在行われている研究の現状をご紹介します、連携のキックオフにしたいと思います。

**主催** 筑波大学/生物材料グリーンプロセッシング研究グループ  
**協賛** 日本印刷学会、紙パルプ技術協会、日本木材学会、機能紙研究会、繊維学会、高分子学会、Paper Science Forum

**期日** 2013年9月12日(木)10時20分～17時（懇親会～19時）

**会場** 筑波大学 大学会館（総合交流会館）国際会議室（茨城県つくば市天王台1-1-1）

**交通** つくばエクスプレスつくば駅6番バス乗り場からバスで12分大学会館前下車  
 高速バス 東京駅八重洲南口5番のりば筑波大学行き 75分大学会館前下車

**参加費** 参加無料 懇親会4,000円（研究分野・所属に限らずどなたでも参加できます）

**申込み** [http://www.enomae.com/Tsukuba\\_BMGP/BMGP2013/](http://www.enomae.com/Tsukuba_BMGP/BMGP2013/)

**問合せ** 江前敏晴（えのまえ としはる） [t@enomae.com](mailto:t@enomae.com)

**プログラム**

時刻	「タイトル」 演者
10:20	開会挨拶 大井 洋（生命環境系生物材料化学分野 教授）
10:30	「木質材料の長期的利用のための微量分析技術の開発」 中川明子（生命環境系生物材料化学分野 准教授）
10:55	「セルロース系バイオマス由来の有用化合物と機能性リグニン材料の開発」 山田竜彦（生命環境系連携 教授・森林総研）
11:20	「酸性サルファイト蒸解の木材バイオリファイナリー技術への適用」 谷藤溪詩（生物材料化学分野 大学院博士後期課程）
11:45	招待講演「タイにおける紙パルプ印刷産業及び印刷学術分野の最新動向」 アラン ハンスエブサイ（タイ チュラロンコン大学理学部画像印刷工学科 准教授）
12:15	--- 昼食 ---
12:55	ポスター発表（第6会議室）学生全員
13:50	ご挨拶 キャロライン F. ベントン（筑波大学 国際交流担当副学長）
13:55	特別講演「DNPの成長戦略と大学への期待」 井上 覚（大日本印刷(株) 取締役技術開発センター担当）
14:40	「鶏羽などの生物材料を丸ごと溶かしてつくるプラスチック」 梶山幹夫（生命環境系生物材料工学分野 准教授）
15:05	「木質系物質を利用した機能化炭素の調製」 木島正志（数理物質系物質工学域 教授）
15:30	--- 休憩 ---
15:45	「紙基板とインクジェット印刷を用いたバクテリア培養システムの開発」 スリモンコン ティティマナン（生物材料工学分野 大学院博士後期課程）
16:10	招待講演「塗工カラーにおけるバインダー成分としての酵素変性デンプンの活用」 ニナ エリヤニ（インドネシア産業省紙パルプ研究センター 試験標準認証部 副部長）
16:40	閉会挨拶「グリーンソサエティにおける紙デバイスとBMGP研究グループの取り組み」 江前敏晴（生命環境系生物材料工学分野 教授）
17:00	--- 懇親会 ---（大学会館レストラン 筑波デミ 19:00まで）